

DX・働き方改革推進に向けた令和5年度の取組み

(1) リーディングプロジェクトの評価・推進

(2) 富山県DX推進条例（仮称）の制定

(3) 令和5年度の重点的な取組み

(1) リーディングプロジェクトの評価・推進①

D X ・働き方改革推進基本方針・アクションプラン(R3.11策定、R4.12見直し)

- 計画期間：令和5年度末まで
- 5つのビジョンの実現を目指し、10のリーディングプロジェクトを推進

ビジョン	リーディングプロジェクト
1 県民本位の行政サービスの実現	(1)スマート県庁推進プロジェクト
	(2)誰一人取り残さないデジタル社会推進プロジェクト
2 デジタルによる県内産業の成長	(3)産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト
	(4)スマート農林水産業推進プロジェクト
3 デジタルによる持続可能な地域やまちづくり	(5)D Xによる関係人口創出・拡大プロジェクト
	(6)県民健康増進プロジェクト
	(7)学校教育情報化（教育D X）推進プロジェクト
	(8)D Xによる安全・安心とやま推進プロジェクト
4 日本一のD X人材育成県	(9)未来をリードするD X人材育成プロジェクト
5 働き方改革でゆとりある暮らしの実現	(10)県民総参加の働き方改革プロジェクト

PDCAサイクルによる進捗状況の評価・検証

- R3年度分 ⇒ R4.7月実施
- R4年度上半期分 ⇒ R4.10月実施
- R4年度分 ⇒ R5.4月実施

(1) リーディングプロジェクトの評価・推進②

令和4年度の評価・検証の結果

- KPI (28項目) の達成状況 ⇒
〈主なKPIの内容〉

R④実績が出ていない5項目を除く

23項目中14項目でR④目標値を達成

※18項目が目標値の8割以上を達成

◆スマート県庁推進プロジェクト

- 「RPA等により効率化する業務量(年間時間)」

R④目標：10,000時間 ⇒ 実績：11,354時間

【例】

- ・ RPAによる職員の超過勤務実態の確認
- ・ AIによる議事録作成

◆産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト

- 「県内におけるローカル5G導入企業の件数(累計)」

R④目標：8件 ⇒ 実績：8件

【例】

工場作業工程の完全自動化

◆DXによる関係人口創出・拡大プロジェクト

- 「富山県移住・定住促進サイト「くらしたい国、富山」アクセス件数」

R④目標：200,000件 ⇒ 実績：230,326件
(R④移住者過去最多更新)

SNSやWEB広告等を通じ、ターゲット層に対し、効果的な情報発信

◆県民健康増進プロジェクト

- 「介護施設等におけるロボット及びICTの導入の支援件数(累計)」

R④目標：420件 ⇒ 実績：424件

(1) リーディングプロジェクトの評価・推進③

令和4年度の評価・検証の結果

〈主なKPIの内容〉

◆スマート県庁推進プロジェクト

➤ 電子申請対応手続数 (累計)

※暫定値

(R②時点：102件) R④目標：4,300件 ⇒ 実績：2,884件 (達成率67%)

(取組方針) 類似手続の対応事例を庁内で共有し、オンライン化を促進

◆誰一人取り残さないデジタル社会推進プロジェクト

➤ マイナンバーカード取得率

(R②時点：27.4%) R④目標：90～100% ⇒ 実績：69.8% (全国11位)

(取組方針) 県独自のカード利活用実証で、利便性を体感してもらい、さらなる取得促進

(1) リーディングプロジェクトの評価・推進④

ビジョン	リーディングプロジェクト名	R⑤当初予算額
1 県民本位の行政サービスの 実現	(1)スマート県庁推進プロジェクト	3.2億円
	(2)誰一人取り残さないデジタル社会推進プロジェクト	0.3億円
2 デジタルによる県内産業の 成長	(3)産業の高付加価値化・ニュービジネス創出プロジェクト	3.7億円
	(4)スマート農林水産業推進プロジェクト	9.4億円
3 デジタルによる持続可能な 地域やまちづくり	(5)DXによる関係人口創出・拡大プロジェクト	4.3億円
	(6)県民健康増進プロジェクト	1.6億円
	(7)学校教育情報化(教育DX)推進プロジェクト	4.9億円
	(8)DXによる安全・安心とやま推進プロジェクト	1.0億円
4 日本一のDX人材育成県	(9)未来をリードするDX人材育成プロジェクト	4.5億円
5 働き方改革でゆとりある 暮らしの実現	(10)県民総参加の働き方改革プロジェクト	2.2億円
	合計 120事業	35.1億円

(2) 富山県DX推進条例(仮称)の制定

【趣旨】

人口減少、産業競争が激化するなか、デジタル技術を活用して社会の変革を推進し、全ての県民が希望に満ち、笑顔があふれ、幸せを実感できる富山県の実現を目指す

【内容】

DXを進めることにより富山県が目指す姿、理念を共有

【スケジュール】

条例案を11月議会上程（予定）

テレワークの推進

目標：柔軟な働き方の推進、緊急時の行政機能維持のため、職員にテレワークの活用を浸透させます

- **テレワーク推進月間(7～8月)を設定**
- **一部の部署を除き希望するほぼ全ての職員が体験**



アンケートを実施し、課題・支障を洗い出し

⇒ **制度の改善、必要な機器の整備**

生成AIの活用について

目標：ワーキングチームを通じ、庁内活用に適した環境を整備し、全庁での**本格導入を目指す**

STEP01

R 5年 6月9日～7月末

- ・ 18所属で試験導入
- ①OpenAIチャットGPT (無料版)
- ②Google Bard (無料版)

連携

STEP02

R 5年 8月以降

- ・ 18所属の一部で、県独自データを追加し活用 (有料版)

連携

STEP03

時期未定

- ・ 庁内活用に適した環境を整備
- ・ 全庁で試験導入

↓
本格導入へ

ワーキングチーム(6/6設置)で協議しながら進める

”Digi-PoC TOYAMA” (富山の課題をデジタルで解決する実証実験プロジェクト)
生成AIを活用した業務改善・働き方改革を図るプロジェクトを予定